

「夏休みセミのぬけがら調査」入門コース宮本公民館結果報告

船橋市環境保全課

1 概要

夏の代表的な昆虫であるセミ(のぬけがら)の調査手法を伝授することにより、身近な自然への関心を深め、自然環境保全思想の醸成をはかることを目的に西船橋出張所を会場に実施した。講師に船橋自然環境調査の市民調査員3名を講師に迎え、小学生以上の市民まで25名が午前、午後に分かれ実施した。

2. 調査

(1)開催日時 8月5日(金) 午前の部 9時から12時、午後の部13時から16時

(2)会 場

宮本公民館および船橋大神宮(午前)、東光寺・船橋大神宮参道(午後)

(3)内容

セミの生態やぬけがら採取のポイントについて学んだ後、グループごとにセミのぬけがらを採取した。会場に戻り、ぬけがらの同定を行ったのち、牛乳パックを使った標準標本を作製した。

(4)スケジュール

9:00(13:00) 受付

9:10(13:10) オリエンテーション

主催者挨拶、講師紹介(関、柳瀬、吉田)

調査方法解説(約20分) 講師:関さん 別紙「調査の手引き」参照

9:45(13:45) 船橋大神宮へ移動

10:30(14:30) 宮本公民館に戻り見分け方の解説

11:00(15:00) 標準標本の作製

12:00(16:00) 講評後解散

3. 結果

(1)参加者数

午前16名、午後9名の25名であった。このうち20名が小学生であった。

(2)確認した種、ぬけがら数

午前の大神宮では多数のミンミンゼミとアブラゼミのぬけがら約300個を確認した。

午後の東光寺・大神宮参道でも同様に、ぬけがら約200個を確認した。

(3) 総合評価

今年は、この時期にしてはせみの孵化が遅く、二日前の西船出張所コースではぬけがらの数も少なかったため心配されたが、当日はそれも杞憂に終わり、大神宮ではかなりの個体数を確認でき、子供たちも夢中でたくさんのぬけがらを採取し、自然を身近に感じてもらうことができた。



午前の部参加者



午後の部参加者



牛乳パックを使った標準標本



講師の説明



牛乳パックを使った標準標本づくり



羽化したばかりのアブラゼミ

アブラゼミの羽化連続写真

